

## 整備事業評価書

(都道府県名:鹿児島県)

政策目的	事業実施地区数ア	評価対象外地区数イ	評価対象地区数ア-イ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
産地競争力の強化	6	0	6	70.0%	4	有	<p>・県全体 6事業主体のうち2事業主体が設定した目標を達成することができた。未達成の事業実施主体について、目標達成に向けた取組への支援を進める。</p> <p>・畑作物・地域特産物(甘味資源作物) 台風の影響により収穫面積が減少したことから目標達成には至らなかったため、今後も地域の受託組織等への支援を継続していく。</p> <p>・畑作物・地域特産物(いも類) 当該事業の導入により、販売金額は増加しているが、コロナ禍による商談遅延や消費地の飲食店の経営不振等により販売高が上がり目標に達していないため、アフターコロナに向けた販路開拓を推進する。</p> <p>・畜産 3事業主体のうち2事業主体は、新型コロナウイルス感染症や飼料価格の高騰等の影響により、畜産加工品出荷額や生産コスト低減の目標達成には至らなかった。引き続き、目標達成に向けた効率的な飼育による生産コスト低減等の取組への支援を進める。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し、71.8%であり、目標は達成されていない。</p> <p>このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け、要因の分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成地区に対しては、県担当者による指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。</p> <p>なお、鹿児島県が改善指導を必要とした地区(達成率90%未満)については、以下の4地区である。</p> <p>&lt;参考:成果目標未達成地区の概要&gt;</p> <p>【かんしょ】1地区 ・「販売金額の増加」及び「契約取引割合の増加」を目標に、かんしょの農産物処理加工施設を整備した1地区について、ばれいしょの優良種芋の確保から集荷まで連携を図ったことなどから「契約取引割合の増加」は達成したが、「販売金額の増加」についてはさつまいも基腐れ病の発生による栽培面積や出荷量の減少により、目標未達成となった。</p> <p>【さとうきび】1地区 ・「1戸当たりの収穫面積の増加」及び「夾雑物混入割合の減少」を目標に農産物処理加工施設として精脱処理施設を整備した1地区について、台風の影響により収穫面積が減少したこと、人手不足により処理施設への投入前の鞆頭部除去が行えなかったことから、いずれの目標も未達成となった。</p> <p>家畜改良増殖施設 【豚】1地区 ・環境ファーム 「肥育豚1頭当たりの生産コスト削減」及び「養豚における事故率低減」を目標に、畜舎等の整備を実施した。</p> <p>両目標とも未達成となっており、肥育豚1頭当たりの生産コスト削減については、飼料価格や資材の高騰により目標を達成出来なかった。</p> <p>また、養豚における事故率以上低減については、達成率91%と着実に改善が図られている。</p> <p>今後、効率的な飼養による飼料費や資材費の削減等により生産コストを削減するとともに、適切な飼養管理により事故等を減らすことで、目標達成を図る。</p> <p>畜産物処理加工施設 【鶏肉】1地区 ・(株)エヌチキン 「基本契約を締結している生産者と中間事業者の間の取引数量を2,292,251羽/年以上増加」「事業実施地区内における当該畜産加工品の出荷額を495,200千円/年増加」を目標に、畜産物加工施設及び畜産物加工機械の整備を行い、処理羽数は6,322,642羽増加したものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外食需要が減少し、出荷額は104,096千円の増加に留まり成果目標は未達成となった。</p> <p>目標未達成の原因が、コロナ禍による外食需要の減少によるものであり、今後、外食需要の回復によって、目標を達成できるものと考えられることから、引き続き目標達成できるよう指導していく。</p>

(注)1.「成果目標の平均達成率」

2.「都道府県による総合所見」欄は要綱別紙様式2に記載された内容を確認の上、転記する。